

十一日、現地に向け出発した。

生徒は阿部翔太君（三年）と宮川将一朗君（二年）、佐藤雄大君（同）。二十一日、成田空港で壮行会が催され、阿部君が「放射線の問題が続いている福島や日本の状況を伝える」と誓った。引率の橋爪清成教諭も「今回の参加者がグローバルな視点を身につけ、新しい日本を構築する人材になることを願う」とあいさつ。スポンサーであるロールス・ロイスジャパンのデイブ・トーマスサプライチェイン・エグゼクティブも生徒らを激励した。

## 最先端科学体験に出発

3 福島高校生 震災で英から招待



壮行会でロールス・ロイスのトーマスさんの激励を受ける福島高の阿部君（左）

イギリスのケンブリッジ大で開かれる「2011ケンブリッジサイエンスワークショップ」に参加する福島市の福島高生三人は二

イベントは科学教育などに取り組む日英の大学や団体が共催する。二十二日から八月四日まで、両国の高校生がケンブリッジ大研究者の指導を受け、最先端の科学を実験などで体験する。今年度は大震災を受け、本県ほか被災した宮城、茨城両県の合わせて六校から生徒十五人、教員六人が招待された。